

人間科学部社会福祉学科 カリキュラムツリー

D P		C P	1 年		2 年		3 年		4 年	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A 幅広い教養と社会福祉の専門的知識・技能	社会福祉学及び関連する分野の基本的な概念や理論を修得し、知識と技能を身に付けることで、人と社会を結びつけ、人々の生活上の問題を理解することができる。	A-2 「基本科目」や「方法・技術科目」等を中心に、社会福祉の学びの基盤となり、共通する知識と技能を修得するために、社会福祉学及び関連する分野の基本的な概念や理論をミクロのソーシャルワークからマクロのソーシャルポリシーの範囲まで総合的に学習し、人、地域、社会を関連付け、人々の生活上の問題及び社会問題を理解することができるようになるための科目を1年次より段階的に配置する。	◎社会福祉原論Ⅰ 医学一般Ⅰ 心理学理論と心理的支援 ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ レクリエーション活動論 ジェンダー論 社会政策論	◎社会福祉原論Ⅱ 医学一般Ⅱ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	社会保障論Ⅰ 地域福祉論Ⅰ 司法福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 社会福祉調査法 介護概論 発達心理学Ⅰ 保育原理 幼児と表現（造形） 教育の理念と歴史 現代哲学思想 A 宗教学 A マクロ経済学Ⅰ 世界経済論 政治学原論Ⅰ	社会保障論Ⅱ 地域福祉論Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ 保育者論 音楽基礎 カリキュラム論 発達心理学Ⅱ 現代哲学思想 B 宗教学 B 国際経済学 政治学原論Ⅱ 国際法	権利擁護と成年後見制度 ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神保健福祉の原理Ⅱ 臨床社会心理学 幼児と健康 幼児と言葉 幼児と表現（音楽）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ 障害児心理学 精神医学Ⅱ 精神保健福祉制度論 造形基礎		
			子ども家庭福祉論Ⅰ 障害者福祉論Ⅰ 高齢者福祉論Ⅰ	子ども家庭福祉論Ⅱ 障害者福祉論Ⅱ 高齢者福祉論Ⅱ 社会理論と社会システム 障害者スポーツ論	福祉サービスの組織と経営 社会的養護Ⅰ 精神保健学Ⅰ 高齢者の心理とケア ディスアビリティ・スタディーズ（障害学） 乳児保育Ⅰ 保育内容総論 保育内容（人間関係） 保育内容（言葉） 国際政治学	公的扶助論 子どもの健康と安全 障害児保育論 学校ソーシャルワーク論 精神保健学Ⅱ 福祉環境論 組織マネジメント論 子どもの保健 保育内容（健康） 子どもの理解と援助	医療福祉論 社会的養護Ⅱ 障害児教育論 精神障害リハビリテーション論 保育内容（環境） 保育内容（表現）	家族福祉論 国際福祉論 子どもの食と栄養 子育て支援		卒業論文
			手話 障害者スポーツ実技 福祉情報処理 ◎基礎演習	点字 ソーシャルワーク演習Ⅰ	ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 自然体験活動論 福祉英会話	ソーシャルワーク演習Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 海外福祉実習 福祉情報演習Ⅱ 介護予防トレーニング演習 臨床心理学 乳児保育Ⅱ	ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅴ ◎専門演習Ⅰ	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅵ ◎専門演習Ⅱ	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅶ ソーシャルワーク実習Ⅲ
			C-2 「技術演習・実習科目」や「専門演習・卒業論文」等を中心に、社会福祉に関する諸問題を自ら発見し、実践現場に参画しながら関係するさまざまな人々と協働し、主体的に解決することができる能力を身に付けるための科目を3年次及び4年次を中心に配置する。	D-2 「基本科目」「方法・技術科目」「専門領域科目」等を中心に社会福祉の分野での学びや社会活動において学問の価値・原理・真理について自律的かつ持続的に探求するために必要な科目を1年次から段階的に配置する。	キリスト教社会福祉論 身体動作学	スポーツ衛生学	福祉情報ネットワーク論 福祉工学Ⅰ 音楽（アンサンブル）	福祉工学Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ	保育実習指導Ⅱ・Ⅲ	保育実践演習 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ

※◎は必修科目を表す。